

# 長岡京市立図書館のめざす将来像を考えるワークショップ 報告

## 第1回 「あなたはどのような図書館に行きたいですか？」

日 時:平成 31 年 1 月 16 日(水)午後 2 時～3 時 30 分

参加者:14 名

### ワークショップ

#### (1) わたしと長岡京市立図書館(自己紹介)

- ・ 図書館を利用しているかどうかを含め、図書館との関わりを中心とした自己紹介  
⇒開館前から文庫活動をされていた方、子育て時代に利用されていた方、本は好きだが図書館とは日常的には疎遠な方など、様々な方の参加があった。

#### (2) わたし以外の人と長岡京市立図書館

- ・ 図書館によく来ていると思う人は？—退職後の男性、乳幼児と親、小学生(土日)
- ・ あまり来ていないと思う人は？—高校生、大学生
- ・ 今後は、外国人も増えるかもしれないし、「来ない」のではなく「来ることができない」のかもしれない

#### (3) 長岡京市立図書館の魅力と課題—3 グループに分かれたワークショップ

⇒各グループから発表。

#### (4) 「魅力のある図書館」とは？

- ・ 様々な立場、世代の人にとって、魅力は何か？
- ・ 図書館本来の機能を考え直し、本質的な魅力とは何か？

## 第2回報告 「市民の望む図書館とは？」

日 時:平成 31 年 1 月 31 日(水)午後 2 時～3 時 30 分

参加者:18 名

### ワークショップ

#### (1) 長岡京市立図書館の課題について

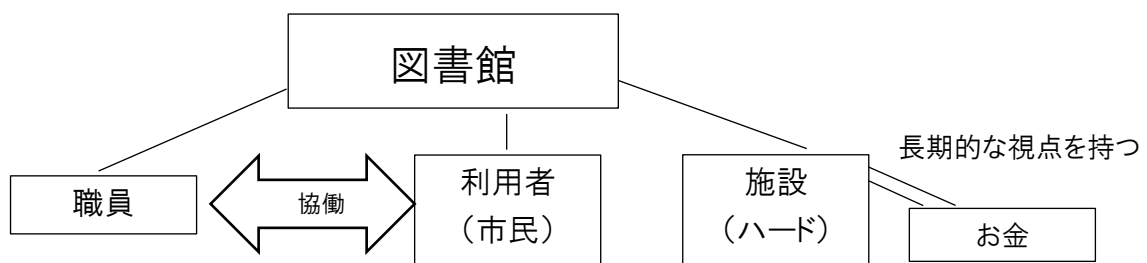
- ・ 図書館のサービスについて、ハード面の有効活用について、子どもと読書活動の関わりについての意見が多数あり。
- ・ 特に、自習室などフリースペースの設置や、中高生など読書離れが懸念される年代への積極的なはたらきかけについてのご意見が多かった。

(2) 魅力ある図書館づくりに必要なことについて

各グループから1つずつ発表。

- ① 開館時間の延長＝利用者数の増加
- ② 数値化できないものを大切に。子どもを育てるための活動、大人向けのイベントにより力を入れる
- ③ 確たる目的を持たず他の図書館を訪ね、様々な特徴を知ることから始める
- ④ 公民館行事とのタイアップ、市営施設など他機関との連携を図る

まとめ



- ・図書館だけで解決しようとするのではなく、他機関との連携・協力を通して魅力ある図書館づくりを
- ・「魅力的な図書館」と言われる先進事例では、必ず図書館員と利用者(市民)が協働している
- ・今後もこのような機会を設け、風通しの良い環境の中で、お互いに支え合いながら進めるべき

## ワークショップでいただいた意見 … 「長岡京市立図書館の魅力」について

### 1 環境の良さ

- ・ 図書館そのもの、周りの環境がきれい
- ・ いつ来ても静か

### 2 蔵書の充実

- ・ 新聞、雑誌
- ・ 児童書

### 3 児童サービスの充実

- ・ 2階が児童室であるため、子どもが過ごしやすい
- ・ 子ども向けのサービスが多い
- ・ 子どもと本を結ぶボランティアや文庫活動が盛ん

## ワークショップでいただいた意見 … 「長岡京市立図書館の現状と課題」について

### 1 ソフト面(図書館サービス)について

・ 配架方法を工夫してほしい、本が探しにくい⇒表紙を見せて置くことができる書架、下段に傾斜がついた見やすい書架

- ・ 利用者の探している資料を全部探すあるいは取り寄せられるのか
- ・ 司書、カウンター職員に相談チャンスは？
- ・ ヤングアダルトコーナーを設置してほしい
- ・ 貸出冊数を増やしてほしい⇒10冊、3週間 など
- ・ 開館時間を延長してほしい
- ・ 人気の本を複数冊所蔵してほしい
- ・ 高齢者向けサービスを充実させてほしい
- ・ 移動図書館車の巡回、配送サービスを実施してほしい
- ・ 図書館へ行くバスを運行してほしい
- ・ 蔵書数が少ない
- ・ 古い本や傷んでいる本が多い
- ・ 蔵書内容を充実させてほしい ⇒芸術関係、郷土資料、科学関係のよみもの、マンガ、アニメなど
- ・ これまでのように、充実した読み聞かせのイベントを続けてほしい
- ・ 魅力あるイベントを実施し、幅広い年代の人に足を運んでもらう

### 2. ハード面(施設)について

- ・ 自習スペースがほしい⇒個別の部屋、グループワーク用、PCが使えるスペース
- ・ ゆったりできるスペースがほしい⇒カフェ、ドリンクバー
- ・ 親子がくつろげるスペースがほしい
- ・ 1階(一般室)にも読み聞かせができるスペースがほしい

- ・ 全館使用できるようにしてほしい
- ・ 地域密着のため、公民館施設等を開放してほしい
- ・ 入口を増やせば入りやすく利用が増えるのでは

### 3. 読書環境について

- ・ 活字ばなれする世代(中・高・大学生)がある
- ・ 幅広い世代に利用してほしい
- ・ 現代は情報を得るための媒体が本以外にもある
- ・ 乳幼児・小学生が本にふれる場所になってほしい
- ・ 図書館で子どもが人間的にゆたかに
- ・ 本嫌いでも図書館に足を運ぶ機会が作れれば
- ・ 学校・行政など他に本を利用したい機関との連携

### 4. その他

- ・ 図書館は公立であるべき、民営化してほしくない
- ・ 地域に大人文庫がほしい
- ・ 職員に気軽に相談できる関係を築くまでが問題
- ・ 改善に向けた予算増
- ・ 駐輪場が狭い
- ・ 場所が遠い
- ・ 夫の蔵書は京大へ寄贈している
- ・ 図書館側で、近年変化を感じられることはありますか？

# 長岡京市立図書館のめざす姿

- 1 市民ニーズに応える図書館（図書館サービス）
- 2 多くの人が集う居心地の良い図書館（施設環境）
- 3 幅広い世代が魅力ある本と出会える図書館（読書環境）

## 市民との協働

- ◇対話…課題の共有、計画と評価
- ◇参画…ボランティア、地域文庫

## 他団体との連携

- ◇市内公共施設等関係機関
- ◇府立図書館や他市町図書館

## サービスの充実

- \* 市民のニーズに合った図書館サービスの提供
- \* 市民に愛される居場所としての図書館
- \* 市民生活の多様化に合わせた図書館の在り方を検討

## 施設環境の充実

- \* 施設設備老朽化への計画的な対応
- \* 閲覧席を増やすなど、現行スペースの有効活用
- \* 新市庁舎建設後を見据えた全館大規模改修の検討

## 読書環境の充実

- \* 利用者にとって魅力ある選書、書架づくり
- \* 地域の特徴を生かした蔵書の充実
- \* 幅広い年代に向けた行事の実施
- \* 図書館を核とした市内の読書環境整備

## 長岡京市立図書館の現状と課題

- ◇ワークショップでいただいた意見
- ◇施設設備の老朽化
- ◇滞在型利用者の増加
- ◇多種多様な図書資料への要望 等

- ◇H28.策定 長岡京市第4次総合計画
- ◇H27.12 図書館協議会答申 次世代の長岡京市立図書館の在り方について
- ◇H28.10 策定 図書館サービス計画

## 長岡京市立図書館のめざす姿(将来像)

- 1 市民ニーズに応える図書館（図書館サービス）
- 2 多くの人が集う居心地の良い図書館（施設環境）
- 3 幅広い世代が魅力ある本と出会える図書館（読書環境）

## 図書館機能の充実について

### 1 市民ニーズに応える図書館(図書館サービス)

図書館は生涯学習の拠点の1つであり、市民の教養と文化の発展に寄与するため、誰もが気軽に利用できる施設でなくてはならない。そのためには、何より利用者の目線に立って運営をしていく必要がある。

その根幹を担うものが、資料の提供や蔵書の充実に代表される図書館サービスである。これらをよりスムーズに利用者に提供できるよう、図書館司書の能力の向上をはじめ、館内表示の見直しや工夫、図書館ホームページを活用した案内の充実などを図りたい。幅広い選書を心がけつつも、地域の実情や特色に則した魅力ある蔵書をめざしたい。

また、市民生活の多様化に伴い、市民の皆様から様々な要望をいただいている。本館のサービスもこうした市民ニーズに応え変化してきた。これからも職員体制などの現状を踏まえ、他市町村立図書館の状況を鑑みた上で、当市の実情に合わせた検討を進めたい。

### 2 多くの人が集う居心地の良い図書館(施設環境)

市民が集う場として、図書館施設そのもののあり方を探る必要もある。現状を見直し、市民のニーズに可能な限り沿えるよう、限られたスペースを最大限に活用できる方法を検討していく。同時に、市の社会教育施設との連携などについても視野を広げていきたい。

将来的には新市庁舎建設に伴う本館内の施設状況の変化を見据え、全館スペースの活用方法を探りたい。近年新設された図書館は、多くの人が集えるような空間をつくり、学びと交流を生み出そうとするコンセプトで建設されているものが多い。将来の大規模改修を見据え、今後どのように図書館を整備していくか、検討を始める必要があるのではないか。

### 3 幅広い世代が魅力ある本と出会える図書館(読書環境)

インターネットの普及などの社会状況の変化による活字離れが叫ばれる昨今において、本とふれあう環境を整えていくことも、図書館の重要な役割である。読書は、市民を文化的側面から支える1つの手段であり、全ての世代に提供されるべきである。

特に、子どもの読書活動は今後も力を入れて取り組む課題であり、今年度策定した「長岡京市子どもの読書活動推進計画」に則し、他機関との連携を含め推進していきたい。

本館が以前より評価を受けている充実した児童サービスやイベントに加え、さらに幅広い世代に目を向けた活動への要望もいただいている。生涯学習の場として市民生活に欠かせない役割を果たすため、本を通じて市民と協働し、地域の生涯学習の場として幅広い世代を視野に入れた図書館づくりを進めていきたい。

以上のことを中心に、図書館サービス計画の推進や図書館機能の充実を図り、より市民が親しみやすい図書館をめざしていきたい。